

## ふれあいバス車両の除菌バス化について

## 1. 背景

- ・ 一般の新型コロナウイルスの感染拡大により、市民にも不安が広がっている。
- ・ ふれあいバスについても、走行中の車内は密閉された空間となることから、車内での感染予防が喫緊の課題となっている。
- ・ 車内の消毒等については、市からも数度にわたり指導徹底を図っており、各社で取り組んでいるが、市内の富士観光バス(株)など、バス車内に電解次亜塩素酸水の噴霧器を設置する取組が開始されている。
- ・ これらを踏まえ、市民に安心してふれあいバスをご利用いただけるよう、ふれあいバス 12 路線の本車両に電解次亜塩素酸水の噴霧器を設置し、除菌バス化を推進するもの。

## 2. 富士観光バス(株)の取組

- ・ 主にインフルエンザ対策として、4 年前頃より貸切バス車内への電解次亜塩素酸水の噴霧器の設置を開始。
- ・ 一般の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、同社が運行する乗合バス・スクールバスも含めて全車に設置予定。
- ・ 同社が運行しているふれあいバス金崎線では、4 月 1 日に本車両・予備車とも設置済。

## 3. 噴霧する液剤について

- ・ 塩水を電気分解して精製する機器専用の電解次亜塩素酸水を使用。
- ・ 臭いはほとんど無し。鼻を近づけるとかすかに臭いがする程度。
- ・ 人体・機器への影響はなし。
- ・ 細菌・ウイルスを不活化する効果あり。(ただし、新型コロナウイルスについては未実証)

## 4. 噴霧器について

- ・ 医療機関や介護施設・事務所等の室内の除菌・消臭用として幅広く活用されている。
- ・ 家庭用電源で作動するが、車内バッテリーから電源を取ることで車内でも使用可能。
- ・ 富士観光バス(株)では、ドア脇に設置。

## 【設置予定機器】

メーカー名及び型番：株式会社シーエムエス JM-200

外形寸法：幅 180×奥行 100×高さ 180mm (ボトル含まず)

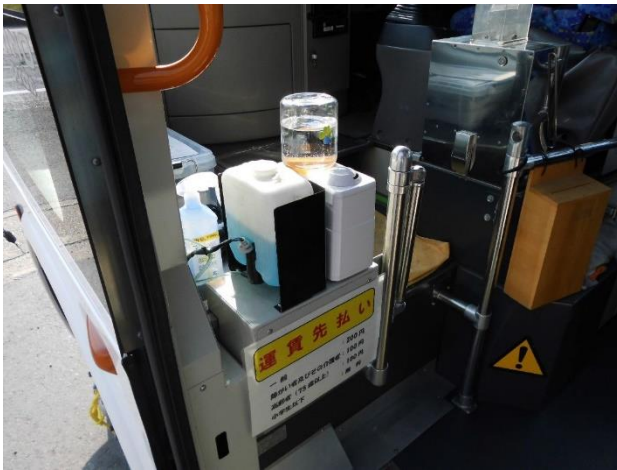
## 5. 経費について

- ・ 本体価格は 1 台当たり約 3 万円 (車内への設置には別途設置工事費等を要する)
- ・ 噴霧する液体は別途購入(年間で 1 台あたり 3~4 万円程度の見込み)

## 6. 栃木市の対応

- ・今般問題となっている新型コロナウイルスへの効果は未実証であるものの、バス車内の除菌及びウイルスの感染予防には一定の効果が見込めるほか、利用者への安心感の醸成も含めて、設置には意義があると考えます。
- ・まずはふれあいバス 12 路線の本車両 16 台への導入を推進することとする。
- ・設置時期については、早期の設置に向けて準備を進めることとする。
- ・設置及び運用に要する費用については、各路線の運行補助金に上乗せすることにより、市が負担する。

(負担額は、令和 2 年度は約 150 万円、令和 3 年度以降は年間約 60 万円を想定)



### 【参考】ふれあいバスの路線及び本車両数 一覧

路線名	運行事業者名	本車両台数	備考
①寺尾線	関東自動車(株)	2 台	
②市街地循環線	蔵の街観光バス(株)	1 台	
③市街地北部循環線	蔵の街観光バス(株)	1 台	
④部屋線	蔵の街観光バス(株)	2 台	
⑤真名子線	関東自動車(株)	2 台	
⑥金崎線	富士観光バス(株)	1 台	4 月 1 日に設置済
⑦大宮国府線	T C B 観光(株)	1 台	
⑧皆川樋ノ口線	T C B 観光(株)	1 台	
⑨小野寺線	関東自動車(株)	1 台	
⑩大平線	(株)ティ・エイチ・エス	1 台	
⑪藤岡線	(株)ティ・エイチ・エス	1 台	
⑫岩舟線	(株)ティ・エイチ・エス	2 台	

問合せ：生活環境部 交通防犯課

担当： 横永

電話： 0282-21-2153